

作品リスト

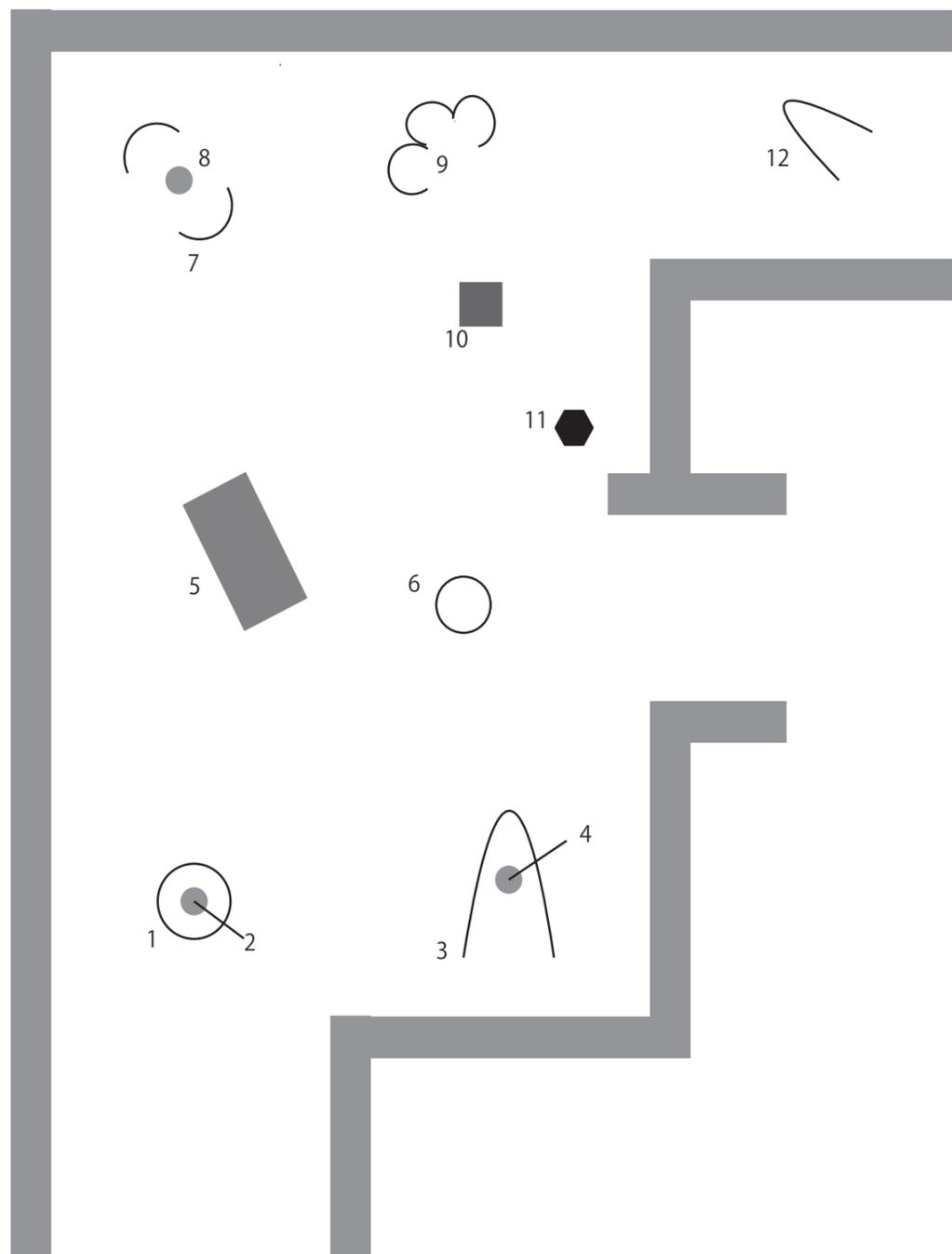
1. レア・d. アレクサンド+谷中佑輔 《Seal to Flow》 2024 年  
コットンにキイチゴ染め、アルミフレーム、120×120×380cm  
裁縫：リロ・ミン・キーファー  
病室のカーテンをイメージさせる《Seal to Flow》は、キイチゴで染められている。不老不死の霊薬を作り出す中国の煉丹術では、その素材である金を溶かすのに青酸を含む覆盆子が用いられたという。成分の浸透は細胞の染色を思わせ、また生と死の境目を想像させる。
2. 谷中佑輔 《Untitled》 2024 年、モデリング粘土、12×12×12cm
3. レア・d. アレクサンド+谷中佑輔 《Seal to Flow》 2024 年  
コットンにキイチゴ染め、アルミフレーム、250×175×300cm  
裁縫：リロ・ミン・キーファー
4. 谷中佑輔 《CRISPR-PP4》 2024 年  
ブロンズ・ガラス・ステンレス、17×15×65cm
5. 谷中佑輔 《CRISPR-PP1》 2024 年  
ブロンズ・アルミ合金・キャスト、265×220×225cm
6. レア・d. アレクサンド+谷中佑輔 《Seal to Flow》 2024 年  
シルクにキイチゴ染め、ガラス、アルミフレーム、60×60×400cm
7. レア・d. アレクサンド+谷中佑輔 《Seal to Flow》 2024 年  
シルクにキイチゴ染め、アルミフレーム、240×110×125cm
8. 谷中佑輔 《CRISPR-PP5》 2024 年  
ブロンズ・ガラス・ステンレス、30×70×110cm
9. レア・d. アレクサンド+谷中佑輔 《Seal to Flow》 2024 年  
シルクにキイチゴ染め、アルミフレーム、120×180×110cm

10. 谷中佑輔 《CRISPR-PP3》 2024 年  
ブロンズ・ガラス・ステンレス・アルミ合金・ワイヤー・キャスト、  
43×120×250cm  
iPS 細胞が模擬受精卵に例えられることを知った作家は、「細胞が元々持っている姿」であることに着目し、人体を初期化することをイメージした。細胞が分化して身体と成っていく過程を逆行し、人体を切り開くような表現に辿り着く。例えば吊るされたブロンズは人の頭部を模った《Untitled》(list no.2)を「展開」したものである。体を切り開いた内側にあるものとしての細胞とは、正に一つの形象であり、同時に作家にとって、家族への想いにつながるものでもある。ガラスはどこか内臓のような形をして、医療機器を思わせるフレームが体のウチとソトを表現したものを支えている。非常に緊張感のある、そして脆いつながりによって。

11. 重力制御装置「Gravite®」(グラビテ)  
再生医療の幹細胞を未分化大量培養するための機器である。リサーチを進める中で「中之島クロス」に出会った作家は、そこで研究される最先端の再生医療研究に触れ、イメージソースとした。装填されている液体には、培養中に予期せぬ形で発生した細菌に、イチゴの果汁が加えられている。  
協力：アズワン株式会社、株式会社スペース・バイオ・ラボラトリーズ  
<https://spacebio-lab.com/gravite/>

12. レア・d. アレクサンド+谷中佑輔 《Seal to Flow》 2024 年  
コットンにキイチゴ染め、アルミフレーム、180×150×250cm  
裁縫：リロ・ミン・キーファー

コラボレーション：レア・d. アレクサンド  
テクニカルサポート：土方大  
制作アシスタント：河崎伊吹、谷口あかり、松岡日菜子  
リサーチサポート：アズワン株式会社、一般財団法人未来医療推進機構、公益財団法人京都大学 iPS 細胞研究財団 (CiRA\_F)  
制作協力：十和田市現代美術館、Berlin Glassworks、Edinburgh Sculpture Workshop



List of Works

1. Léa d. Alexandre + Taninaka Yusuke, Seal to Flow, 2024, Cotton dyed with blackberry, aluminum frame, 120×120×380cm  
Sewing by Lilo Ming Kiefer
2. Taninaka Yusuke, Untitled, 2024, Modelling clay, 12×12×12cm
3. Léa d. Alexandre + Taninaka Yusuke, Seal to Flow, 2024, Cotton dyed with blackberry, aluminum frame, 250×175×300cm  
Sewing by Lilo Ming Kiefer
4. Taninaka Yusuke, CRISPR-PP4, 2024, Bronze, glass, stainless steel, 17×15×65cm
5. Taninaka Yusuke, CRISPR-PP1, 2024, Bronze, aluminum alloy, casters, 265×220×225cm
6. Léa d. Alexandre + Taninaka Yusuke, Seal to Flow, 2024, Silk dyed with blackberry, glass, aluminum frame, 60×60×400cm
7. Léa d. Alexandre + Taninaka Yusuke, Seal to Flow, 2024, Silk dyed with blackberry, aluminum frame, 240×110×125cm

8. Taninaka Yusuke, CRISPR-PP5, 2024, Bronze, glass, stainless steel, 30×70×110cm

9. Léa d. Alexandre + Taninaka Yusuke, Seal to Flow, 2024, Silk dyed with blackberry, aluminum frame, 120×180×110cm

10. Taninaka Yusuke, CRISPR-PP3, 2024, Bronze, glass, stainless steel, aluminum alloy, wire, casters, 43×120×250cm

11. Gravity Control Device “Gravite®”  
Cooperation by AS ONE CORPORATION,  
Space Bio-Laboratories Co.,Ltd.  
<https://spacebio-lab.com/gravite/>

12. Léa d. Alexandre + Taninaka Yusuke, Seal to Flow, 2024, Cotton dyed with blackberry, aluminum frame, 180×150×250cm  
Sewing by Lilo Ming Kirfer

\*  
Collaboration with Léa d. Alexandre  
Technical management : Hijikata Dai  
Assistant : Kawasaki Ibuki, Taniguchi Akari, Matsuoka Hinako  
Research support from AS ONE CORPORATION,  
the Organization of Future Medicine, CiRA Foundation.  
Production support from Towada Art Center, Berlin Glassworks,  
Edinburgh Sculpture Workshop